

すべての少女に「衣食住」と「関係性」を  
少女から搾取しない社会へ

## 女子高生サポートセンターColabo 活動報告

『孤立困窮した青少年に対する  
アウトリーチ支援者養成講座の実施』



# Colaboの活動

「すべての少女に衣食住と関係性を  
困っている少女が搾取や暴力に行きつかなくてよい社会」を合言葉に活動。  
公的機関が閉館中の夜間や休日でも本人自ら駆け込めるシェルターを日本で初めて開設。  
年間100名以上の全国の女子中高生と関わっている。



# アウトリーチ支援者養成研修（背景）

声をかけてくるのは・・・

「買春目的の男性」か「搾取労働へ斡旋する人」ばかり

少女たちは・・・

自ら助けを求めることが困難な状況

支援者は・・・

相談者を待つ支援が中心、実情を知らない、どう声をかけていいかわからない

☆支援者たちが街に出て、子どもたちに出会いに行き、声をかけて繋がり、選択肢を増やしたい

☆夜の街に出て、声をかけ、つながるアウトリーチ支援者を増やしたい

⇒アウトリーチ支援者養成講座の実施

# アウトリーチ支援者養成研修の実施

## 研修の様子



街歩きスタディツアーの参加者を対象に、座学やワークショップ、「家出体験」などを通して、中高生達が夜の街に出る背景を想像し、気持ちに寄り添えるようになることを目的。

どんな声掛けや支援が必要か、自分の役割・できることは何かを一緒に考える。

## 参加者の感想

「（家出体験では）夜中、お腹かすいたけれどお金もないし、お腹かすいてとうしようかと思った。若い女性か歩いていると、怪しい男性たちか声をかけていた。安心して家て過ごせない子ともたちの過酷さかわかった。」